

等しい 「一縮」「同じ」と同じ手まね。

秘密 「内証」と同じ手まね。

暇 (イ) 仕事—ない—休む (両手の掌を上に向け、夫々両膝に置く)。 (ロ) 「退屈」と同じ手まね。

病氣 頭痛の時にするように、拳で額の上を叩たく。

病院 「医院」と同じ手まね。

開く 「開ける」「始める」と同じ手まね。

昼 五指の指頭を上にかしし掌を前向けにした両手を顔の前で交叉してそれを左右に勢よく左右に離す。「明るい」の手まね。

日和 「晴れ」と同じ手まね。

平等 「普通」「平均」と同じ手まね。

貧苦 貧しい—悩み。

フ

不安 「心配」「恐れる」と同じ手まね。

不運 運—悪い。

笛 両手で横笛或は立管(たてに吹く笛)をつ夫々の手の姿態をして、五指の指頭で笛の穴を塞さぎ開く運動をして、口で吹く真似。

風習 一般(掌を下に向けた右手を左胸脇辺りから前方へ弧を描いて右へ)—習わし。

風船 掌を向い合わせた両手の五指(凡てまるく屈めたのを夫々互の指頭でつけ合わせ、両手で一つの球状をつくり、それへ口をつけ息を入れ、球状をふくらませるように両手を左右に拡げて離す。

夫婦 右の男性(親指)と左の女性(小指)を胸の前辺りで合わせる。

○結婚 この男性の指と女性の指を左右に離しておいて、それを静かに相寄せると、結婚となる。

部下 「家来」と同じ手まね。

深い 「大層」の手まねをそのままの人差指の指頭を下にさす。

不快 五指の指頭を左にさし掌を内側にし、た右手を胸にあて、強い調子で前方へ弾ね返す。「胸くそ」の悪いこと。

不可能 「出来ない」と同じ手まね。

不機嫌 「機嫌」の仰の手まね。

福祉協会 幸せ―協会（連盟）

復讐 「五分五分」と同じ手まね。

不景気 商い（金銭の回転）―悪い。

不潔 「汚い」と同じ手まね。

不幸 孝行―適しない（はずれる）

富囊 「金持」と同じ手まね。

不在 「家」を表わした手まねの左手をそ

のまま残して置き、その下で五指の指頭を前方にさし掌を左側にして右手を素速く掃き取るように掌を内側に向ける、家の中にはいないことを表わしたもの。

不作法 作法―はずれる（適しない）

無事 「相変らず」と同じ手まね。

武士 指頭を前方斜め上にさした人差指の両手を左腰に重ね（二刀帯び）―男性

不自由 「不可能」と同じ手まね。

不信 掌を内側にし指頭を上にした親指と折り曲げた四指の間即ち人差指との間で顎を挟み突き上げるようにする。「一杯喰う」の反対の動作。

無精 「怠ける」と同じ手まね。

不正 「猾い」と同じ手まね。

防せぐ 掌を内側にして五指の指頭を自分の胸にさして寄せて来る（攻め手）右手を、五指の指頭を上にした掌を前に向けた左手で